景気変動と経済政策

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

今日の問い

景気はなぜ変動し、政府や日本銀行はどんな対策をとるのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 景気変動

好況・不況

1 経済全体の活発さ。好況と不況がくり返される。

2 物価が継続して上がり続けること。

3 物価が継続して下がり続けること。

経済は、いつも同じ調子で動くわけではない。商品がよく売れて生産が増え、働く人の賃金も上がる好景気(好況)になると、やがて売れ行きがにぶり、生産が減って失業者が増える不景気(不況)になる。このように ＿1＿ が良くなったり悪くなったりすることを景気変動(景気循環)という。

景気と深く関わるのが物価である。物価が継続して上がり続けることを ＿2＿ (インフレ)といい、同じお金で買える物が減る。逆に、物価が継続して下がり続けることを ＿3＿ (デフレ)という。デフレでは企業の利益が減って賃金も下がりやすく、不景気とともに起こる悪循環におちいることもある。景気の波は、新しい技術の登場や海外の経済のようすなど、さまざまな原因で生まれる。

状態	物価	賃金・雇用
好景気	上がりやすい	賃金・雇用が増える
不景気	下がりやすい	賃金・雇用が減る

2 政策と為替

金融政策・円高

6 日本銀行がお金の量を調節して景気に働きかける政策。

7 政府が税や公共事業で景気に働きかける政策。

8 円と外国のお金を交換する比率。

日本銀行は、おもに ＿4＿ を売買する ＿5＿ で、銀行のもつ資金の量を調節する。不景気のときは国債を買う。すると銀行の資金が増えて金利が下がり、企業が借りやすくなる。お金が出まわれば、生産や投資が活発になりやすい。好景気のときは、その逆を行う。これが ＿6＿ である。一方、政府の ＿7＿ では、不景気のとき公共事業を増やし、減税を行って、需要を増やす。好景気のときはその逆を行う。

円と外国のお金を交換する比率を ＿8＿ (為替レート)という。1ドル=100円から80円になるのは、円の価値が上がる ＿9＿ で、輸出企業に不利に、海外旅行や輸入には有利に働く。1ドル=100円から120円になるのは円安で、輸出企業に有利になる。

できた ＿＿ /9

ちりつもドリル
学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。